校訓　「文武不岐」

小青松

大仙市立角間川小学校
令和７年10月31日
学校報　第34号

創立１５０周年　「ま・え・む・き」角小

ニュースポーツ体験教室

10月22日（水）、本校体育館を会場に角間川公民館主催の「ニュースポーツ体験教室」が開かれました。地域住民の生涯スポーツ振興と健康の保持・増進に資すること、児童と地域の方々との交流を深めることをねらいとするものです。保呂羽山少年自然の家の職員の方を講師に迎え、角間川さわやかサークルのみなさんと５、６年生児童が参加して行われました。

今回は、「モルック」に挑戦しました。モルックは、フィンランドのカレリア地方の伝統的なキイッカというゲームを元に1996年に開発されたスポーツです。モルック（棒）を投げて倒れたスキットル（点数がついている木製のピン）の内容によって得点を加算していき、先に50点ピッタリになるまで得点した方が勝ち！というスポーツです。51点以上になると、もう一度25点からとなるので計算し、ねらいのスキットルを決めながら行わなければいけません。まさに頭脳戦ですが、運も大きく左右するという楽しいスポーツです。会場は応援の声や歓声、拍手が湧き起こり、みんな笑顔になり、大変盛り上がりました。子どもたちは、時間いっぱい楽しんで活動し、地域の方々との交流を深めることができました。

教育アドバイザー訪問

10月28日（火）、大仙市教育委員会の教育アドバイザーが来校されました。６月の訪問に続き、２度目の訪問です。お二人の先生には、２校時の授業を参観していただき、次のような感想をいただきました。

- どの学年も落ち着いてしっかりとした態度で学習に臨んでいる。
- 自分の考えを発表する、友達の考えを聴いて反応する、更に考えを深めるなど、楽しみながら学ぶ子どもたちの姿が見られた。
- 間違いを恐れずに発表する子どもたちに育てていってほしい。

※いただいた感想や助言をこれからの支援や指導に活かしていきます。

『あきた教育の日』『だいせん読書の日』

早いもので明日から11月です。明日11月１日は、『あきた教育の日』です。県民一人一人が教育に関心をもち、学校、家庭、地域、企業などが連携・協力しながら子どもたちを育てていくという共通認識に立って教育立県を目指し、子どもたちがやがて県内外で秋田の発展を支える「人」となることを願って定められた日です。この日を前後して11月にかけて、教育関係機関や学校、民間団体等で教育関連行事等が集中的に開催されます。

大仙市では、11月の第１木曜日を『だいせん読書の日』としています。市教育委員会でも『大仙っ子読書の日』として、読書の啓発や学校図書館の活性化に向けた運動を行っています。今年は、11月６日（木）です。この日、本校でも昼休み後に読書タイムを設ける予定です。また、７日（金）と28日（金）は、読み聞かせボランティアの皆様による「読み聞かせ」、21日（金）は、みんなで楽しく角小ブック委員会企画の図書集会が行われます。本のよさ、読書の楽しさを味わえる機会を増やしていきたいと考えています。

学びのフィールドを広げて

２年生

10月22日（水）、生活科フィールドワークではなび・アムと大曲図書館に行きました。はなび・アムでは、花火玉の作り方や大曲の花火の歴史についてのお話を聞きました。今年の大阪万博で打ち上げられた大曲の花火の映像も見せていただき、子どもたちも興味深く見入っていました。大曲図書館では、普段は入ることのできない蔵書室も見学しました。本の読み聞かせもしていただきました。最後には読みたい本を選び、利用カードを使って本を借りる体験をしました。

３年生

10月27日（月）、社会科フィールドワークでグランマート飯田店に行きました。店長さんの説明を聞きながら、店内や普段は入ることのできないバックヤードを見学しました。お店の売れ筋の商品、お客様が便利で気持ちよく買い物できるようにするための工夫、リサイクルへの取組など、たくさんのことを教えていただきました。最後は、買い物体験をしました。家の人と相談して決めた物を探して買いました。お金が足りるかどうか計算し、ドキドキしながら会計しました。